

- 桜島火山爆発総合防災訓練における  
技術試験衛星VIII型「きく8号」を用いた通信実験等の実施について

- 平成20年1月8日

平成20年1月11日(金)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と情報通信研究機構(NICT)は、鹿児島市で行われる「桜島火山爆発総合防災訓練」に参加いたします。総合防災訓練では、平成18年12月に打ち上げた技術試験衛星VIII型「きく8号」の基本実験の一環として、衛星通信実験用端末による情報伝達実験を実施し、防災アプリケーションの評価および紹介等を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

(1) 日時:平成20年1月11日(金)8:30~12:00

(2) 場所:市街地側会場ー鹿児島駅会場

桜島側会場ー桜島赤生原(あこうばる)避難港、桜島溶岩グラウンド

(3) 実験内容:

【JAXA】

[1] ICタグを用いた避難所状況把握、映像による住民避難状況確認

赤生原避難港に避難した地域住民が携行するICタグから情報を読み取り、「きく8号」を介して鹿児島駅会場に送信します。また、その避難状況の映像を「きく8号」を介して鹿児島駅会場に送信します。

[2] 映像による被災地の状況確認(ウェアラブルカメラ)

溶岩グラウンドでの救出・救護訓練の様子を、ウェアラブルカメラを装着した調査員が撮影し、映像を「きく8号」を介して鹿児島駅会場へ送信します。

[3] 被災現場での救護活動支援(トリアージシステム)

鹿児島駅会場において、被災現場での救護活動に使用されるトリアージタグの電子情報を、「きく8号」を介して対策本部にリアルタイムで提供するトリアージシステムのデモンストレーションを行います。

[4] 被災地情報報告

超小型携帯通信端末(外部アンテナ接続)を用いて、道路状況、土砂崩れ、火災発生、負傷者数の情報を「きく8号」を介して鹿児島駅会場へ送信するデモンストレーション実験を行います。

【NICT】

災害通信デモンストレーション実験

NICTが開発した衛星通信用携帯端末(重量約270g)を用いて、「きく8号」を経由した災害時における音声伝送のデモンストレーション実験等を鹿児島駅会場~溶岩グラウンド間で実施します。本実験につきましては、一般の方の参加も歓迎します。

(本報道資料に関する問い合わせ先)

宇宙航空研究開発機構

広報部

Tel:03-6266-6413~7

情報通信研究機構

広報室

Tel:042-327-6923

鹿児島市役所

市民局市民部安心安全課

Tel:099-216-1213

次世代安心・安全ICTフォーラム

同事務局(テレコム先端技術研究支援センター内)

Tel:03-3351-8166